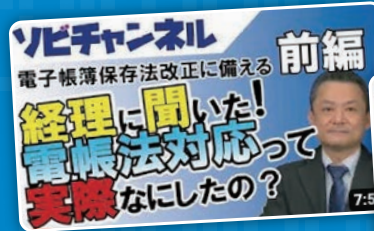


# 電帳法対応って 実際何をしたの?

アイ・オー・データ/企画 木戸(左)、  
経理 築山(中央)、販売促進課 鶏川(右)



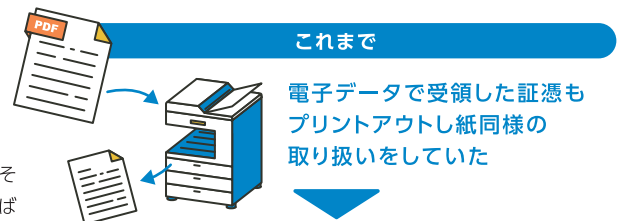
アイ・オー・データYoutubeチャンネル「ソビチャンネル」

**Q** 2021年9月から電帳法の対応を進めていたそうですが、  
電帳法対応のきっかけを教えてください。(鶏川)

**A** 法律が変わるということで、やらない選択はなかったことと、社内の関連部署への理解・協力が必要不可欠のため、早めに動くことを心がけていました。その結果、関連部署に話を聞く際に多少時間はかかりましたが、法律が変わり、やらなければいけないことを伝えると、理解もいただけてあまり苦労はしませんでした。(築山)

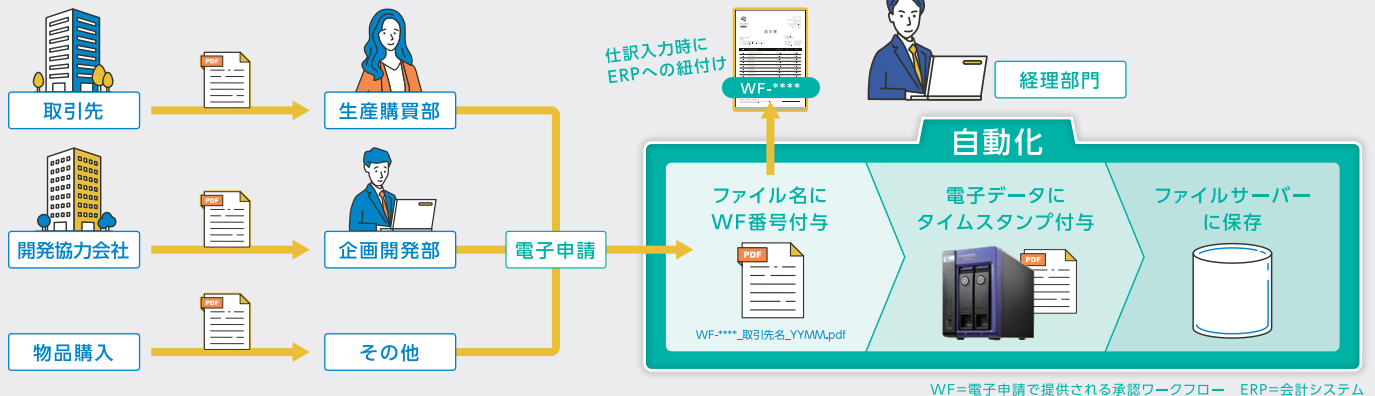
**Q** 電帳法対応を進める中でわかってきた  
課題を教えてください。(鶏川)

**A** 今回の改正にあたって対応が必要なのは電子でやり取りした証憑類です。まずは関連部署に紙でやり取りしているのか、電子でやり取りをしているのか、どれくらいのパターン・ボリュームがあるのかをヒアリングする「現場業務の棚卸し」が必要でした。そのうえで弊社では経理に回ってくる請求書や納品書等は毎月1,000枚~1,500枚程度発生しており、これらを関連部署と協議し、パターン化していきました。(築山)



- 実施したこと**
1. 現在の業務フローの棚卸しと見直しを実施
  2. 電子データで受領した請求書・領収書の業務フローを確立
  3. ファイル保存の際に電子データファイルに自動的にタイムスタンプを付与するシステムを構築

## 電子取引のために追加した業務フロー



**Q** 導入される上で、  
苦労したことはありましたか?(鶏川)

**A** ヒアリングと事前調整の甲斐もあり、あまり苦労することはありませんでした。システム構築に際しても、経理側から明確な要望を伝えていたので、社内のシステム部門にスムーズに対応いただけました。(築山)

**Q** 運用開始から、どれくらいの  
期間で社内に定着しましたか?(鶏川)

**A** 誤った運用をされている方には都度説明をして再提出をお願いし、約一ヶ月程度で定着できました。経理の業務が1ヶ月サイクルということもあり、次の月からは皆さんきちんと対応していただいています。(築山)

**Q** 運用をスタートし、  
うまくいかなかったことはありましたか?(鶏川)

**A** 実際に運用をスタートしてみると、これまでは紙での提出を徹底していたということもあり、運用後は電子データで提出すれば済むところを、紙で印刷して来る方がいらっしゃるなど、ルーティンワークの切り替えについて社内案内がうまく浸透していないケースが見られました。(築山)

**Q** 今後、改善していきたい点はございますか?(鶏川)

**A** 運用方法について告知を社内の電子掲示板で複数回案内していましたが、今後はさらに説明会を開くなどして告知を強化していく必要があると思いました。(築山)

